

9月30日(土)第1回香南市長杯サッカー大会が、野市ふれあい広場サッカー場で開幕。赤岡、野市中を含む県内外16校、約350人の中学生が集まり、10月1日(日)の2日間、初代優勝校の座をかけて熱戦を繰り広げました。

赤岡中は、惜しくも予選リーグで敗退。野市中は5位。全国レベルの有力校との試合に学ぶことが多い大会でした。閉会式では秋雨の中、観客から各校の健闘をたたえて惜しみない拍手が送られました。



スタッフのテント前に整列し、「ありがとうございました!」と選手たち。

がんばれ! 未来のJリーガー

第1回香南市長杯サッカー大会(中学生の部)



結果 優勝 三津浜中(愛媛県) 準優勝 高知学園中(高知市) 第3位 帝人サッカースクール(愛媛県) 敢闘賞 香長中(南国市)

Hello! Hello!

国際交流パーティー



9月30日(土)吉川天然色劇場で、市内の外国語指導助手(ALT)と国際交流員(CIR)が企画した国際交流パーティーが行われました。約30人の参加者は、バーベキューを楽しみながら、フライング・ディスクやクリケットなどに熱中し、英語や日本語の歓声が! 学習会では、国際トリビアクイズなどを交え、それぞれが出身国の歴史や文化を紹介し楽しい一日を過ごしました。

アルミ缶が車イスになったよ

吉川小が施設へ贈呈

吉川小学校は、3年前からアルミ缶を集めて車イスと交換する事業に取り組んでいます。

開かれた学校づくりの取り組みで、児童はもちろん、地域の住民や高齢者学級などにも呼びかけ、アルミ缶を集めました。やっと1台分に相当する800kgを達成し、社会福祉法人オークの里に贈ることになりました。

10月14日(土)施設の秋祭りで、児童代表が車イスを贈りました。



施設最高齢の柿本光子さん(96歳)が試乗し、「うれしい!」と大喜びでした。

心も身体もリフレッシュ

物部川河川敷にパークゴルフ場オープン

10月7日(土)野市ふれあい広場パークゴルフ場が完成し、オープン記念セレモニーが行われました。

本格的な河川敷のパークゴルフ場は、県内初で水と緑が楽しめる18ホール。仙頭市長が「地域・世代間の交流の場、健康づくりの場として多くの人に利用してもらいたい」とあいさつし、テープカットの後、早速出席者約60人が競技にチャレンジ。一打ごとに歓声があがり、秋晴れのもとプレーを満喫していました。

利用日/毎週金土白月(雨天は不可)
 利用料/無料(倉具も含む)
 予約空き状況/のいちパークゴルフ愛好会(☎090-8888-3703)利用日の時間内のみ
 その他の問い合わせ/教育委員会生涯学習課 ☎57-7523



利用は小学生(保護者同伴)以上。

9月23日(土)香南市民大学セミナーが開講されました。旧町村にはそれぞれのセミナーがありましたが、統合され野市町のサンホールと夜須町のマリンホールで、5回にわたり開催したものです。

市民の自己啓発や文化的な生活を推進するために行われた講演。第1講座の芝原文化研究所の辻本一英さんは「伝統的な民俗芸能が危篤状態にある」と、昔ながらのものが後継者不足で消えていくという文化の断絶を訴えました。

気象予報士・俳優の石原良純さんは『石原家の人びと』と題して、家族の話や天気予報への情熱を身振り手振りを交えて語り、会場の約400人の受講者の笑いを誘いました。

今回2会場に分かれての開催ということで、無料送迎バスを運行しました。利用者は多く、「駐車場の心配もなく便利」と好評でした。

文化の秋に楽しい講演を

市民大学セミナー開講



9月24日(日)災害医療訓練が、高知県災害医療対策中央東支部会議などの主催により赤岡町保健センターで行われました。9月24日午前8時30分に南海地震が発生、多数の負傷者が出たため香南市は医療救護所を設置。負傷した近隣住民が、次々と搬送されて来た」と想定し実施されました。この訓練は、負傷者の傷病程度により治療や搬送の優先順位を判断する「トリアージ」という方法で行うもので、医療関係者や地元住民ら約100人が参加しました。医師と看護師が、運ばれてくる負傷者を60秒以内に重傷度に応じた選別をし、識別表を作成して、搬送スタッフが該当するエリアにすばやく搬送していました。

安全運転をお願いします

秋の交通安全週間

9月21日(木)から30日(土)は秋の全国交通安全運動週間。初日の21日には、ミスマーメイドの津田佳奈さんを香南警察署の一日署長として迎え、ごめん・なはり線車内で啓発チラシやうちわを配り交通安全をPRしました。

また、22日には国道55号線の夜須町手結山で交通安全協会や指導員、母の会会員らが車窓越しに夜間蛍光ステッカーなどを配布し、安全運転を呼びかけました。

香南市内における運動期間中の交通事故は3件(対前年-2件)と少なく、けが人も9人から3人(対前年-6人)と減少。しかし、全国的には高齢者が事故に巻き込まれるケースが多いことなどから、関係者は自動車を運転する時は特に気をつけてほしいと訴えました。

南海大地震に備えて!

トリアージ訓練

